

Art Festival

170組の若手クリエイターが大集結！ノンジャンルのアートフェスティバル

SICF27

第27回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル

会期：A日程 2026年5月1日（金）－3日（日・祝）

B日程 2026年5月4日（月・祝）－6日（水・祝）

会場：スパイラルホール（スパイラル 3F）、スパイラルガーデン（スパイラル 1F）



スパイラルは、さまざまなジャンルのクリエイター170組による公募展形式のアートフェスティバル「SICF27（第27回 スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル）」を、2026年5月1日（金）－6日（水・祝）に開催します。

SICFは、「生活とアートの融合」を掲げるアートセンター「スパイラル」が、2000年から継続的に開催しているアートフェスティバルです。若手作家の発掘・育成・支援を目的として、EXHIBITION部門（100組）とMARKET部門（70組）の2部門で開催。ジャンルの制限も、年齢の制限もなく、公募によって選出された多彩なクリエイターが一堂に会し、作品展示やプレゼンテーションを行います。会期の最終日には、グランプリ、準グランプリ、各審査員賞のほか、来場者の投票によって決まるオーディエンス賞等の各賞を優秀作品に授与します。

既存の価値観の枠を超えた、新たな時代のクリエイターたちがゴールデンウィークのスパイラルに集います。次代をひらく若手作家の熱気と創造性に満ちたスパイラルへ、どうぞお越しください。

この機会にぜひご取材・ご掲載の検討の程、よろしくお願いたします。

■掲載に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター

アート事業部 コミュニケーション担当 三田 穂積、宮下 恵梨子

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail：press@spiral.co.jp / web サイト：<http://www.spiral.co.jp>

SICF SPIRAL INDEPENDENT CREATORS FESTIVAL spiral

EXHIBITION 部門 100 組 出展者決定！



EXHIBITION 部門 A 日程 水巻純

〈 A日程：2026年5月1日-3日 〉

新井 友梨/石井 萌/一 SEKI/袁 辰/Yuan Chen/大西 くるみ/
 柏倉 風馬/桂 典子/加藤 彩夏/樹のかけら/くまがい らら/黄 時雨/
 KOKI/後藤 萌心/小山 明日翔/XU Xiaofan/スギタヤスラ/高口 聖菜/
 たかすぎるな./高椋 もえみ/たけや よう/TAMIO/チャチャ/
 TSANG JACK/土屋 幸生/天明 なぎさ/十五征/中村 花絵/
 nagi okumura/Nuttamon Pramsumran/neiro/Hahyojin/FAN QINYU
 /樋口 紗也香/檜木 小春/松野 もも/水巻 映/Millie/森 恵海/
 山際 あゆ/山本 彌/湯浅 実奈/夕映えてシアン/yuzu fujioka/
 Yookaisei/Youtaro Sakamoto/吉田 茉莉子/依田 理子/ligi/
 劉 彦孜 Liu Yanzi/劉 麗櫻 Liu Reo



EXHIBITION 部門 B 日程 水田あぐ 作品

〈 B日程：2026年5月4日-6日 〉

阿南 さざれ/池田 洸太/井下 紗希/イフクカズヒコ/
 榎本 ひらく/海老平左衛門 from 劇団エビハラ/WANG PEIPEI/
 小方 英理子/片桐 正義/Colorful PETALS/かわばた まゆこ/kan./
 管野 実結/木川 みく/煦 (9) /胡 羽恬/小池 有乃/坂爪 亜蓮/SHEA
 /清水 領真/杉浦 穂奈実/鈴木 遥香/鈴木 創一朗/スズキタイト/
 関野 凜太郎/some/to/Daiki Toyama/大東 真也/高橋 紗里/
 TAKU NISHIMURA/多田 ブレイダン 千洋/佃 優河/
 TETTA (SUGIMOTO Satoko) /寺内 木香/Tomoko Konae/
 Tomomi Yoshizawa/畑 直子/原 優ノ介/平田 梨華/平山 慎也/
 humuu/Futile Devices Collective/堀田 紗来/松永 李音/円山 菜多
 /山下 千里/Liu Jinhe/reiko.matsuno/レイモンド 愛華/呂 亜輝

MARKET 部門 70 組 出展者決定！



MARKET 部門 A 日程 MARIKO KONISHI 作品

〈 A日程：2026年5月1日-3日 〉

Asuka Shimada/アトリエ Qiuto 小出 麻紀子/石川 多恵子/
 INSIEME JEWELRY/USAGI Craft Lab./Adyn Wang/odachi marino/
 Kaining He/加藤 徳美/革細工 まつした/kiha/佐々木 光/
 SAWAI Yoriko/zenzaburo/ソノトキノキブン/止 to/tronco/
 Babi Glass/Balancing Act/Haru/令佳 | haruka/bibabobo/
 hyanahyu/For Judy/藤井 裕子/fumiko aihara/Prunier d'or/
 Floreisen/MARIKO KONISHI/Mika Hayashiya/mimi senka/YUUSUI
 /rea/run-run textiles/Rololo



MARKET 部門 B 日程 表行 作品

〈 B日程：2026年5月4日-6日 〉

Adam/oryza/KAZARI/かたちのプティック/川淵 好美/
 小西 優芳/kononkonon/comoto/komorebi/saico:saisa/
 ZANY FABIA COFFEE/shionefukui/シバタトシエ/柴田俊恵/
 EVIG ISM CLUB/白鳥 好貴/soin/chodo/Chung Hwijin/
 TEKONOKO kogin works/Nozomilkyway/NOTAR objects/hico works
 PIPOLE/ピポレ/藤田棟梁/bonbon homespun/MANAHO HAMASAKI/
 misaki kotori/minigara/村上 ハルナ/MOMO/夜行/吉永 ひな野/
 MEIXUAN LI x RIVERS QINNAN ZHU/和田 翔馬/渡邊 純也

ABOUT SICF



EXHIBITION部門 会場風景 Photo: TADA (YUKAI)



MARKET部門 会場風景 Photo: TADA (YUKAI)

ジャンルを越えたアートが集結

今年は、EXHIBITION部門には300組の応募が、MARKET部門には140組の応募があり、それぞれ出展審査を通過した、100組と70組の気鋭のクリエイターがスパイラルに集結。

EXHIBITION部門では、100組の気鋭の若手作家が2会期に分かれ、立体・インスタレーション、絵画、写真、イラストレーションやそれら既存のジャンルにとらわれない作品を発表し、活発なプレゼンテーションを展開。

MARKET部門も同様に、70組の作家が2会期に分かれ、工芸・クラフト、アクセサリ、プロダクト、ファッションなど生活を豊かに彩る作品を展示、販売。

実際に展示された作品の審査を経て、最終日に受賞者を発表します。

開催概要

名称 **SICF27 (第27回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)**

会期 **EXHIBITION 部門**

A日程: 2026年5月1日(金) - 3日(日・祝) 11:00 - 19:00 [50組]

B日程: 2026年5月4日(月・祝) - 6日(水・祝) 11:00 - 19:00 [50組]

*各日程の初日、5月1日(金)と4日(月・祝)は13:00スタート。

MARKET 部門

A日程: 2026年5月1日(金) - 3日(日・祝) 11:00 - 19:00 [35組]

B日程: 2026年5月4日(月・祝) - 6日(水・祝) 11:00 - 19:00 [35組]

会場 **EXHIBITION 部門** スパイラルホール (スパイラル 3F)

MARKET 部門 スパイラルガーデン (スパイラル 1F)

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅 B1、B3 出口すぐ

チケット EXHIBITION 部門

Art Sticker にてオンラインチケットをご購入いただけます。

[一般] 1,000 円 (税込)

[A・B 共通券*] 1,500 円 (税込)

[学生*] 無料

*A・B 共通券は、A 日程・B 日程の各日程 1 日ずつ入場可能。

*学生は学生証を提示のうえ、SICF 公式 SNS へのフォローで無料。

オンラインチケット購入はこちら：<https://artsticker.app/events/123752>

販売期間：2026 年 4 月 1 日 (水) 13:00 – 5 月 6 日 (水) 18:30

MARKET 部門

入場無料

審査員 EXHIBITION 部門

(敬称略) 金澤 韻 | キュレーター

小金沢 智 | キュレーター/東北芸術工科大学准教授

山城 大督 | 美術家・映像作家

山田 紗子 | 建築家

加藤 育子 | スパイラル キュレーター

MARKET 部門

大治 将典 | プロダクトデザイナー/統合デザインディレクター

白本 由佳 | アートディレクター、グラフィックデザイナー

藤原 大 | DDI 代表/デザイナー、クリエイティブディレクター、美術家

堀越 千尋 | スパイラル 商品課 課長・バイヤー

顕彰 EXHIBITION 部門

グランプリ (1 点)、準グランプリ (2 点)、各審査員賞 (4 点)、スパイラル奨励賞 (1 点)、
デイリーアート賞 (1 点)、オーディエンス賞 A 日程 (1 点)、オーディエンス賞 B 日程 (1 点)

MARKET 部門

グランプリ (1 点)、造形賞 (1 点)、技術賞 (1 点)、独創賞 (1 点)、
スパイラル奨励賞 (1 名) オーディエンス賞 (1 点)

*顕彰数は変更する場合があります。

受賞者発表 2026 年 5 月 6 日 (水・祝) 20:00 (予定)

*但し、オーディエンス賞は 5 月 7 日 (木) に発表する予定です。

お問い合わせ先 03-3498-1171 (スパイラル代表)

SICF Web：<https://www.sicf.jp>

SICF Instagram：https://www.instagram.com/sicf_jimukyoku/

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

協力：CLIP、株式会社ステージフォー

グラフィックデザイン：田部井美奈

Exhibition

SICF26 EXHIBITION 部門 グランプリアーティスト展

サワイダイスケ

「BURNING SWEET LIFE

- Connection to Hope / 希望への接続 -」

会期：2026年5月9日（土） - 24日（日）

会場：スパイラルガーデン（スパイラル 1F）

発展を追い続ける人類のあり方を「火」を通して問いかける、東京初の大型個展



スパイラルは、昨年5月に開催したアートフェスティバル「SICF26」EXHIBITION 部門において出展者100組の中からグランプリに選ばれたアーティスト、サワイダイスケの個展を開催いたします。

サワイダイスケは、スケートボードカルチャーに登場する「火」を使ったグラフィックに影響を受け、人と文明をつなぐ役割を担う「connector」という観点で「火」を捉えなおし、その関係性を思考する作品を発表しています。SICF26の出展作《Landscape of Contemporary Civilization》は、火と共に歩んできた文明とその発展に焦点を当てるテーマの壮大さと批評性、誰もが親しみやすい表現力が評価され、グランプリを受賞しました。

今回は、「BURNING SWEET LIFE - Connection to Hope / 希望への接続 -」と題し、文明がもたらす恩恵と破綻という両義性の中で生きる私たちの過去と未来を再考する作品を発表します。火の獲得以降、人類は農耕や定住、都市化を通じて発展する一方で、暴力や格差、資源の収奪、環境破壊といった多くの課題も内包してきました。本作では、会場となるスパイラルの吹き抜け空間（アトリウム）に約3m×6mの小屋状のインスタレーションを展開。火の手があがる小屋からは、内外をつなぐ線路が走り、文明と共に拡張した人類の営みや移動を彷彿とさせます。スロープの上から眺めるとまるで私たちが生きる現代社会を俯瞰するかのようです。おもちゃのジオラマのような作品は楽しげでありながら、今まさに地球で広がる戦禍を思わせ、甘美に見える現代文明の危うい状態を浮かび上がらせてます。

発展を追い続ける人類の在り方を問いかけ、それでもなお抱く未来への希望を見つめ直すサワイダイスケ。東京初となる大型個展、是非ご期待ください。

■掲載に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター

アート事業部 コミュニケーション担当 三田 穂積、宮下 恵梨子

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail：press@spiral.co.jp / web サイト：<http://www.spiral.co.jp>

SICF SPIRAL INDEPENDENT CREATORS FESTIVAL spiral

過去作品



DAISUKE SAWAI (Landscape of Contemporary Civilization)
SICF26 EXHIBITION 部門 グランプリ受賞作品
Photo:TADA (YUKAI)

SICF26 審査員コメント

山田紗子（建築家）

子どものおもちゃに炎という危険かつ原初のモチーフをかぶせて、ユートピアとディストピアが同時に存在しているような鮮やかな表現が目をついた。気候変動やエネルギー、生活、産業、都市、汚染。数多くの議論や関係性を、積み木の抽象性が取捨選択し、組み換え可能なフォーマットで軽やかに表現されている。これはどうしたことなのか、とまじまじと見ては思わず議論してしまいたくなるような引力を持っていた。規模の大きな展示において、作者がコネクターと呼んでいる炎の存在が一層深みを持って体験されることを楽しみにしている。



サワイダイスケ

1983年秋田県生まれ、東京を拠点に活動。2006年駒澤大学法学部政治学科卒業。人と文明の関係性を制作の中心に据え、人類史における火を「connector」として再解釈した作品を発表している。

幼少期から蓄積されたスケートボードの身体的経験とその文化が内包する火の象徴性を起点として、人類が拡張し続ける文明への違和感の中で浮かび上がる人類の在り方への問いと、希望のかたちを、作品制作を通して探究している。

主な出展歴に、個展「HOME SWEET HOME」(2025/MILLHOUSE PRINT LAB/東京)、「DISCOVER」(2024/SPOTMAN/東京)、「KINDLING」(2024/MAT/東京)など。

【同時開催】SICF26 EXHIBITION 部門 受賞者展



山崎 結以 (準グランプリ)
(蔬菜)



Lily Onga (準グランプリ)
(Ring Box)

グランプリアーティスト展と同時開催で SICF26 EXHIBITION 部門の受賞者 10 名が作品を展示します。スパイラルが選出する、新たな時代をひらくアーティストの表現にぜひご注目ください。

参加アーティスト：

山崎 結以 (準グランプリ)、Lily Onga (準グランプリ)、ムレイティ アントニー (金澤韻賞)、杉本 篤 (館鼻則孝賞)、川畑 那奈 (山城大督賞)、近藤 ののか (スパイラル奨励賞)、小沢 和葉 (デイリーアート賞)、近藤 唯士 (オーディエンス賞 A 日程)、SASAMANA (オーディエンス賞 B 日程)、後藤 夏希 (オーディエンス賞 B 日程)

出展者一覧



山崎 結以 | Yui Yamasaki 準グランプリ

神奈川県生まれ。2023 年東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻日本画修了。集団の中での振る舞いを関心の起点とし、個と集団の距離感について思考しながら群像表現に取り組んでいます。集団行動の中で現れるそれぞれの振る舞いの機微を描くことで、価値観の異なる他者とともに生きていくこと、という普遍的なテーマに触れています。

主な受賞歴に、「TOKYO MIDTOWN AWARD 2025」準グランプリ・パートナー賞 (2025)、「Gallery 美の舎 学生選抜展 2021」優秀賞 (2021)。



Lily Onga 準グランプリ

1997 年タイ、バンコク生まれ。2025 年武蔵野美術大学院造形研究科修士課程 (基礎デザインコース) 修了。

主な受賞歴に、「ADC 104TH ANNUAL AWARDS (New York Art Director's Club)」Gold Cube (2025)、「武蔵野美術大学 終了制作」優秀賞 (2025)、「Bangkok Illustration Fair」Bangkok Art & Culture Center Award 受賞 (2025)、「Degree Show 2019」グランプリ (2025) など。



ムレイティ アントニー | Anthony Mureithi 金澤韻賞

2003年生まれ。サザンユタユニバーシティ在学。日系とアフリカ系のルーツを持つ。異文化的な背景から生じるズレを起点に、メディウムの境界を横断する実践を行っている。見るという行為を身体的な経験として捉え直し、体を通して像と出会う場を立ち上げることを試みている。



杉本 篤 | Atsushi Sugimoto 館鼻則孝賞

群馬県出身。13歳でスケートボードを始め、18歳頃よりスケートボードを題材に映像制作を始める。

トリックを記録する形式的な映像は次第に、物事に対する視点や精神性、態度の在り方を問うものへと変化していく。現在は”ただ、そこにある”路上と自身の在り方を重ねながら、視点の変容やアイデンティティ、社会との関わりを主題に制作を行っている。

主な出展歴に、個展 SHIKABI -灯火- (2023/AA/東京)、企画展 唯今「巡る周辺 (THE MOTIF AS A MOTIVE)」(2026/21世紀美術館/石川)、グループ展 前橋の美術 (2024/アーツ前橋/群馬) など。



川畑 那奈 | Nana Kawabata 山城大督賞

2021年東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。2024年東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修了。

トランス・スケールな物語を生み出す装置として、風景アニメーションを制作する。財)カンセイ・ド・アジア文化財団 第二期オフィシャルサポートアーティスト。主な受賞歴に、ANIMATOU International Animation Film Festival Genève Lab Award (2024) など。



近藤 ののか | Nonoka Kondo スパイラル奨励賞

1998年埼玉県生まれ。2026年東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。人間が設計した現代風景に潜む「デザインの無意識」に着目し、現代風景を機能としてではなく人間の意図を超えて動くスケールが起こす「現象」として読み替える視点を提示しようと、詩や絵を組み合わせた作品を制作している。

主な出展歴に、「第74回 東京藝術大学 卒業・修了作品展」(2026/東京藝術大学 大学美術館/東京)、「野良展示 1.0」(2025/川端緑道/東京)、個展「命のこと」(2025/island kitchen LOCKY/宮古島)など。

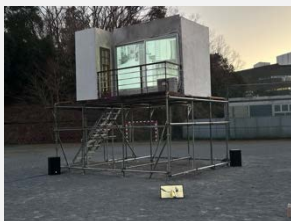


小沢 和葉 | Kazuha Ozawa デイリーアート賞

2000年生まれ。2023年武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科ガラス専攻卒業。2025年富山ガラス造形研究所研究科卒業。

主な受賞歴に、キラリナアートアワード 佳作(2025)。

主な出展歴に、GEN(2025/東京都美術館/東京)、光のアート展(2025/史跡旧崇広堂/三重)、流理 (2025/The Art complex Center of Tokyo/東京)など。



近藤 唯士 | Yuishi Kondo オーディエンス賞 A 日程

2000 年東京生まれ。2025 年東京造形大学映画・映像専攻卒業。

映像表現をベースに、特定の場所にある景色や物体を別の場所へ移動・再現させる「転景（てんけい）」という手法を用いた作品を制作。

受賞歴に、東京造形大学卒業制作展 ZOKEI 賞ノミネート（2025）など。

主な出展歴に、NEW SCHOOL 成果展「希望の野帖」（2026）、中央線芸術祭 Space Sharing Program（2025）など。



SASAMANA オーディエンス賞 B 日程

1992 年東京生まれ。武蔵野美術大学基礎デザイン学科卒業後、アーティスト・デザイナーとして活動。

コロナ禍をきっかけにはじめた朝食習慣をインスタレーションにした「Art on Toast」など、「日常をみつめる、世界ととけあう、今を生きる」をテーマにアートに取り組んでいる。東京、ロサンゼルス、メルボルンにて展示やアートワークショップを実施。趣味は海外のローカル市場を巡る「市場巡礼」。



後藤 夏希 | Natsuki Goto オーディエンス賞 B 日程

2000 年宮城県生まれ。2023 年秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻卒業。

2025 年東京藝術大学大学院工芸科修了。

「目に見えない自然現象の可視化」をコンセプトに作品を制作。

重力や熱によって繊細に形を変えるガラスを主な素材とし、自然現象そのものを「つくり手」として迎え入れることで、その働きによって生まれるかたちを作品として捉える。素材の物理的変化と人の介入の間に現れる表現を通して、自然の摂理と人間の関わり方を考えている。

主な出展歴に、個展「Shape of 」(2025/アーツセンターあきた/秋田)、個展「[Fragment:]」(2025/ARTDYNE/東京)、「3331 ART FAIR 2022」(2022/3331 arts chiyoda/東京) など。

開催概要

会期：2026 年 5 月 9 日（土） - 24 日（日） 11:00 - 19:00 会期中無休

会場：スパイラルガーデン（スパイラル 1F）

入場無料

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

グラフィックデザイン：田部井美奈

Exhibition

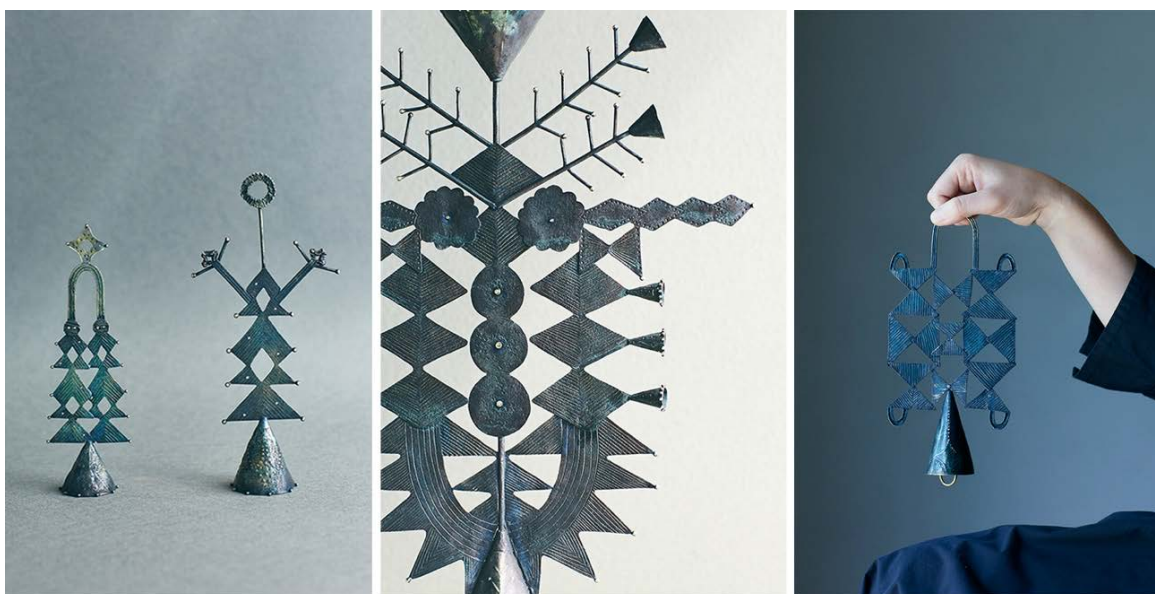
SICF26 MARKET 部門 グランプリアーティスト展

UMIOTO 「WATER FLOW」

会期：2026年5月1日（金）－6日（水・祝）

会場：エントランス（スパイラル1F）

藍色の真鍮に響く、風景の音色



UMIOTO
Photo:Rika Ozawa

スパイラルは、昨年5月に開催したアートフェスティバル「SICF26」の MARKET 部門において出展者70組の中からグランプリに選ばれたアーティスト、UMIOTO による個展を開催します。

UMIOTO は風景が奏でる音をイメージした装身具やオブジェを金属で制作。SICF26 で発表された藍染の真鍮作品は、服を藍染めする工程で、真鍮ボタンも青く染まると発見したことをきっかけに誕生しました。自然に抗わずに、生活に寄り添い、手を加えて長く使う。そこに面白みや、その時の思いが残るようにつくられた品々からは、手仕事や素材の持つ温かみを感じられます。

審査では、金属の表情や、丁寧さが伝わる造形の美しさだけでなく、真鍮を藍染めする実験を重ねた過程、そして各アイテムが魅力的に配置された構成力が評価され、グランプリを受賞。中でも色合いや質感、形、音色が合わさった神秘的な魅力を持つベルの作品は高い注目を集めました。

本展では、雨上がりの朝に、たまった水滴が葉から地面へ、そしてまた植物へと巡っていく様子を、自然と人の暮らしとが奏でる景色に重ねた、ベルをはじめとする立体作品など新作を中心に展開します。水が流れるリズムから生まれた音、そこから想像された、優しさや生命力も感じられる造形の数々。ひとつひとつの作品からひろがる景色に耳を澄ませ、音を感じ、是非お楽しみください。

出展作家コメント

「WATER FLOW」

雨上がりの朝、家の庭には小鳥がきます。

葉に溜まった雨粒をついばみ、その重みで揺れた葉先から水滴が地面へと落ちて、土から植物へと吸い上げられ、風に揺れる姿は、まるで人が歌って踊っているようでした。

その光景は、人も植物も小鳥も同じ水の流れて繋がっているのだと感じました。

効率や便利さを求める社会のリズムは、人の身体の感覚を超え、本来の暮らしのバランスを遠ざけているように思います。

ベルの素朴な音色や、藍染めの色が、現代社会の中でふと深呼吸をする時間を生み出せたら嬉しいです。

過去作品



UMIOTO
(tsun tsun poco poco)
Photo:Rika Ozawa



SICF26 MARKET 部門 会場風景
Photo:TADA (YUKAI)

SICF26 審査員コメント

氷室友里（テキスタイルデザイナー）

真鍮に藍染を施すという独自の技法から生まれる、深みのある色味と奥行きのある表情に強く心を惹かれました。偶然の発見から始まり、耐久性などを丁寧に検証しながらプロダクトとして成立させていく過程にも、作家としての真摯で実直な姿勢が感じられます。紙を切ったような潔いシルエットと、手仕事ならではの痕跡が共存する造形も非常に魅力的でした。造形のインスピレーションのもととなったストーリーも興味深く、知れば知るほど惹き込まれる魅力にあふれる作品だと感じました。

鈴木啓太（PRODUCT DESIGN CENTER 代表、デザイナー、クリエイティブディレクター）

「金属を藍で染める」という前例のない試みが生み出した美しい表情と、独自の造形美の融合が高い完成度を示していました。

とりわけ〈ベル〉シリーズの澄んだ乾いた音は、ブータンの寺院を連想させ、祈りの空気も纏っていました。壁面オーナメントも光と影で表情を変える美しいものでした。作家活動を再始動されて間もないと伺いました。来年の個展も今から楽しみです。

**UMIOTO**

1983年 神奈川県生まれ。2006年武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科金工専攻卒業。

2020年「UMIOTO」を立ち上げ、風景が奏でる音やかげらからイメージをして、唯一無二の真鍮を藍染めした装身具や、アートオブジェを制作している。

主な受賞歴に、「第9回岡本太郎現代芸術賞」入選（2005）など。
主な出展歴に、「77 NEEDLE WORKS/ UMIOTO」（Spiral Market アトレ吉祥寺）（2025）「その人の美意識、感性を香りとして纏う」（三越伊勢丹新宿本店本館/東京）（2025）など。

【同時開催】SICF26 MARKET 部門 受賞者展

グランプリアーティスト展と同時開催でSICF26 MARKET 部門の受賞者 5 名が作品を展示販売します。

参加アーティスト：

studio kumo（準グランプリ）、hito/kata（白本由佳賞）、Long Nagai（鈴木啓太賞）、Saito Yuna（氷室友里賞）、apsis（ベストセールス賞）

出展者一覧

**studio kumo（水のかたち） 準グランプリ**

名畑 碧哉（1994年北海道生まれ）と小野 里紗（1994年兵庫県生まれ）のユニット。2019年 not architects studio 共同主宰、2023年 studio kumo 共同主宰。建築の領域からプロダクトやアートといった様々な分野を横断的にデザインするデザインスタジオ。

主な受賞歴に「JID AWARD 2025 プロダクト部門」金賞、「JIA 建築家のあかりコンペ 2023」佳作、「日本空間デザイン賞 2022 ショップ空間部門」銅賞など。

**hito/kata 白本由佳賞**

1982年アルゼンチン生まれの稲田 フランコ タデオと、1983年岐阜生まれのいなだよしえによるクリエイティブユニット。愛知県立芸術大学デザイン学部卒業。作品が見る人に喜びを運ぶ、小さな光のような存在となることを願い、ひとつひとつに物語を込めたガラスドームの立体作品や木工によるオブジェなどを制作。

主な出展歴に『hito/kata christmas』GALLERY IRO（2025）など。

**Long Nagai 鈴木啓太賞**

1997年宮城県白石市生まれ。白石和紙を用いたプロダクトの企画・制作を行うとともに、蔵王町遠刈田温泉および白石市にてアーティスト・イン・レジデンスを運営。原料生産から紙漉きまで一貫して行われる地域素材に着目し、紙の構造的特性や一枚ごとの個体差を活かしたデザインを通じて、伝統工芸と現代の暮らしを接続する試みを行っている。

主な出展歴に、「てしごとの間 -和紙紀行-」（一畳十間／東京、2025）、全日本こけしコンクール（ホワイトキューブ／宮城、2025）など。

**Saito Yuna 氷室友里賞**

1996年神奈川県横浜市出身。現在、同地を拠点に制作。愛知県立芸術大学陶磁器専攻卒業、ソウル科学技術大学大学院陶芸学科修了。

陶磁器の吸収性や透過性に着目し、水や染料が素材内部を移動・浸透する過程を取り込んだ制作を行う。無釉陶磁器を用い、時間や湿度などの環境条件によって変化する色彩や痕跡を「景色」として可視化し、立体や平面作品を中心に発表を行っている。主な受賞歴に、Lexus Creative Masters Finalist (2023)、第12回国際陶磁器展 MINO 入選 (2021) など。

**apsis ベストセールス賞**

東京を拠点とするジュエリーブランド apsis。2024年始動。2014年国際基督教大学アーツ・サイエンス学科卒業後、国内ブランドでデザイン・企画生産に従事し独立。天体軌道の最接点・最遠点を意味する“apsis”を名に、身体表現を軸とし、動きの中で生まれる関係性や接点をテーマに制作している。オリジナルコレクションを中心に、オーダーメイドやリメイクも展開。2026年 G.I.A. G.G.取得。

開催概要

会期：2026年5月1日（金） - 6日（水・祝） 11:00 - 19:00 会期中無休

会場：エントランス（スパイラル 1F）

入場無料

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

グラフィックデザイン：田部井美奈